千二小だより　第１２号　　令和２年２月２７日

こころざし

文責　校長　峰添奈津子

本物のあいさつ

庭の木蓮のつぼみも次第に膨らみはじめ、今年度も残り１か月となりました。今年は暖冬でしたが、２月１１日には木場地区も朝からほんのり雪景色となり、数人の子ども達が少しの雪を集めて雪だんごを作り、学校へ持ってきていました。もうすぐ３月、学年のまとめを行いながら、次年度への期待を膨らませ、残りの学校生活を大切に過ごしています。

本年度実施した学校評価に「進んであいさつができているか」という項目があります。達成率を見ると、児童の肯定評価は 90%であるのに対し、保護者の評価は 79%、学校支援委員さんの評価は 88%と学校での指導が家庭や地域での実践につながっていないようです。もう一度子供たちと「あいさつをする」意味についても見直し、継続して更に取り組んでいきたいと思います。下欄は１０月の全校朝会で話をした一部分です。

一つ目は「本物のあいさつ」のお話です。「あいさつ」は生きていく上で人生を変えてしまうくらいとても大切なものです。さっそくみなさんも「本物のあいさつ」をためしてみましょう。ポイントは、

①自分から　②目を見て　③大きな声で　　あいさつをすることです。

二つ目は「いつも上機嫌でいる」ということです。笑顔は大きなパワーを持っているので、多くの笑顔の人をひきつけます。すると自分の周りには笑顔の人でいっぱいになりますね。

今日は「本物のあいさつをする」こと、「いつも上機嫌でいる」こと、この二つのお話をしました。いつも心がけて生活してみてください。

地域の方と楽しく遊んだ　むかしの遊び会

１・２年生が、生活科の学習で、地域の方と一緒にむかし遊びを楽しみました。こまの回し方やおはじきの遊び方などくわしく教えていただきました。子ども達も、地域の方と遊びを通して触れ合うことができ、どの子も大満足でした。

【みんなであそんだ昔遊び】
おはじき、メンコ、だるま落とし、お手玉、コマ、竹とんぼ、けん玉、缶ぽっくりなど…。お越しいただいた黒田さん、林田さん、吉岡さん、中村さん、ありがとうございました。吉岡さんからは、手作り缶ぽっくりもいただきました。

雲仙市　読書感想文発表会（2月１５日愛の夢未来センター）

６年 ○○さんが、千二小代表として出場しました。「ヘレン・ケラーの生き方から学んだこと」と題し、自分の経験や中学生での抱負などについて発表しました。

（本文抜粋）「ぼくは、ヘレンやサリバン先生のようにどんなことでもあきらめずに努力する生き方をしたいです。中学校ではいろんな人達と仲良くなって友達をたくさん作りたいです。これからいろんなことにチャレンジして、自分の世界を広げていきたいと思います。」

堂々として落ち着いた、すばらしい発表でした！

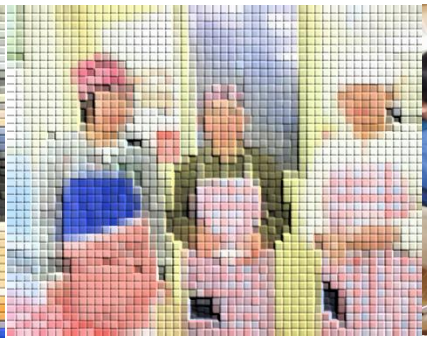
なわとび大会

２５日に全校でなわとび大会を実施しました。最初は個人の短なわとびの技をそれぞれに披露しました。高学年は、二重跳びも軽々と跳んでおりさすがでした。次に長なわ８の字跳びです。全員の心を一つにして、記録更新に向け挑戦しました。１～６年まで全員の参加なのでそれぞれの能力差を互いにカバーし、みんなで心を一つに、結果として１５１回の記録が出ました。更に練習を積み、２００回超えることを確信しています。

ちぢわっ子夢楽習

集団生活を通して、社会性等を身に付けることをねらいとし、千々石少年自然の家にて２月１６日（日）から３泊４日で行われました。親元を離れ、月～水曜日までは、自然の家から学校へ通いました。本校からも５・６年生６名が全員参加し、夕ごはんは、事前に自分たちでメニューを決めて買い物をし、ハンバーグやパスタ、チャーハンなどそれぞれの班で作っておいしく食べました。千々石一小の児童とも仲良く触れ合い、親睦を深めることができた４日間でした。

千々石少年自然の家　野中所長様はじめ職員の皆様、大変お世話になりました。



3月の主な行事

６日（金）	６年交流学習（千々石一小）
１３日（金）	卒業式予行練習
１７日（火）	ぶくぶくタイム 千々石中学校卒業式
１８日（水）	第７３回卒業証書授与式
２４日（火）	修了式・離任式

【保護者の皆様へ】新型コロナウイルス感染症の日本国内での流行を受け、ご家庭でも、下記のような基本的な感染症対策や子ども達の健康管理をお願いいたします。

①正しい手の洗い方、咳エチケット
②免疫力を高めるため，十分な睡眠，適度な運動やバランスのとれた食事
③発熱等風邪の症状がないか、毎朝の健康観察
④なるべく人混みを避ける